

朗読指導者 養成講座

2026年
4月開講

～朗読を深める～

Rodoku

講師陣 (講義日程順 敬称略)



山崎 広子



野田 尚史



奥秋 聡



三田村 雅子



三宅 民夫



加賀美 幸子

作品を理解し、聞き手の心に届く朗読を深めることを目的としています。
朗読者だけでなく、日々コミュニケーションを必要とされる職業の方、
また、日常生活における円滑な人間関係を目指す方にも役立ちます。
ご一緒に、朗読力アップを目指して勉強しませんか。



NPO日本朗読文化協会

講師プロフィール

(講義日程順 敬称略)

R0



山崎 広子

やまざき ひろこ／国立音楽大学卒業後、音声生理学と心理学を学び、音響心理学、知覚認知心理学をベースに音声と脳の関係を研究。3万例以上の声の分析を経て、脳の発声回路から発声障害を改善する方法論を確立。歌手・政治家・ビジネスパーソンの声のコンサルティング、またヴォイストレーナーの育成も行う。著書は「8割の人は自分の声が嫌い」(角川新書)、「声のサイエンス」(NHK出版新書)他。ラジオや講演で声の素晴らしさを伝え続けている。一般社団法人「声・脳・教育研究所」代表。成蹊大学非常勤講師。



三田村 雅子

みたむら まさこ／早稲田大学大学院博士課程修了、フェリス女学院大学教授、上智大学教授を経て、フェリス女学院大学名誉教授。NHK「古典への招待」の講師。幸田弘子とともに「源氏語り54帖」をさいたま劇場で行う。NHK100分で名著「源氏物語」講師。専門は源氏物語、枕草子。主著「源氏物語 感覚の論理」「枕草子表現の論理」「記憶の中の源氏物語」「天皇になれなかった皇子の物語」(とんぼの本)他。



野田 尚史

のだ ひさし／現職：国立国語研究所名誉教授。生まれ：1956年、石川県金沢市。学歴：大阪外国語大学イスパニア語学科卒業、同大学大学院修士課程日本語学専攻修了、博士(言語学)。職歴：筑波大学講師、大阪府立大学助教授・教授、国立国語研究所教授、日本大学教授。著書：『日本語を分析するレッスン』(共著、大修館書店、2017年)、『なぜ伝わらない、その日本語』(岩波書店、2005年)、『日本語を話すトレーニング』(共著、ひつじ書房、2004年)など。



三宅 民夫

みやけ たみお／元NHKエグゼクティブアナウンサー。1952年名古屋生まれ。75年NHKに入局し、岩手・京都勤務を経て、東京アナウンス室へ。『おはよう日本』『紅白歌合戦』『NHKスペシャル』など、看板番組を司会、『大河ドラマ功名が辻』の語りも担当した。今も、『鶴瓶の家族に乾杯』など、マイクに向かい続けている。放送文化基金賞、前島密賞を受賞。著書に「言葉のチカラ」。立命館大学衣笠総合研究機構客員研究員も務めてきた。



奥秋 聡

おくあき さとる／現職：NHKディレクター テレビ番組「こころの時代」を担当。1999年NHK入局。沖縄、静岡、鹿児島、東京で勤務。制作した番組：ETV特集「関東大震災と朝鮮人 悲劇はなぜ起きたのか」(2016年)、こころの時代「死者は沈黙の彼方に 作家・目取真俊」(2020年)、ETV特集「久米島の戦争なぜ住民は殺されたのか」(2022年)、こころの時代「あなたはあなたらしく 牧師・平良愛香」(2024年)、こころの時代「命の声を届ける 作家・市川沙央」(2025年)、著作：「海の放射能に立ち向かった日本人」(旬報社)



加賀美 幸子

かがみ さちこ／1963年NHK入局。在局中は、報道、教育、教養、音楽芸能番組等々幅広く担当し、女性初の理事待遇となる。現在も、ライフワークである古典の原文朗読を中心に講演、執筆など様々な活動を展開。NHK会長賞、ダイヤモンドレディー賞、前島密賞、徳川夢声市民賞など受賞。「NPO日本朗読文化協会」名誉会長、「千葉市男女共同参画センター」名誉館長、「放送人の会」理事、「NHK文化センター」講師、他。

doku



2026年
4月開講

～朗読を深める～ 朗読指導者養成講座

募 集 要 項

主 旨	<p>この講座は朗読者に求められる幅広い人間性と朗読指導者としての高いレベルの知識及び指導法を体得することを目指して行うものであり、講座終了後、「修了証」を授与します。</p> <p>朗読の喜びや力を如何に伝えていくか。また、聞く人の心に届く朗読とはどのようなものか。その力を朗読者のものとするためには、朗読者自身の豊かな人間性と広い意味での朗読のノウハウを身につけることが必要とされます。それらを総合的に学び、朗読を深めるのがこの講座です。</p> <p>朗読は人と人とのコミュニケーション力を付ける大切なスキルの一つです。朗読の基礎、表現法を学ぶことによって、話し方、声の出し方、発音、声の調子などあなた自身の表現も深まります。</p> <p>朗読はもとより、学校での生徒に良く伝わる授業、また、ビジネスの場での説得力あるプレゼンテーションなどの力を上げる事が出来ます。また、言葉の専門である各講師の指導を体験することによって、指導法を学ぶこともできます。</p> <p>NPO日本朗読文化協会はこの講座で培われた「朗読者」を通じて、広く社会貢献できることを目標としています。</p>
講座内容	<p>講座は1年間（月1回）を通して行われます。</p> <p>はじめに：「朗読論」 加賀美幸子…Ⓐ4月25日（土）</p> <p>I：「基礎力」 ①山崎広子…Ⓐ5月23日（土）Ⓑ6月27日（土） ②野田尚史…Ⓐ7月25日（土）Ⓑ8月22日（土）</p> <p>1：音声学を基にし、朗読の元になる発声、朗読者自身が自分の声を知り、それを使いこなせるようにします。 2：言葉の基礎を基に、聞き手に伝えるには何が必要か、伝わる日本語を学びます。</p> <p>II：「表現力」 ③奥秋 聡…Ⓐ9月26日（土）Ⓑ10月24日（土） ④三田村雅子…Ⓐ11月21日（土）Ⓑ12月26日（土） ⑤三宅民夫…Ⓐ1月23日（土）Ⓑ2月27日（土）</p> <p>魅力的な表現とはどのようなものか。人に伝えるには、何が大切か。 プロデューサー、文学、司会、ナレーション等の視点から幅広く指導を受けます。</p> <p>まとめ：「朗読論」と朗読発表 加賀美幸子…Ⓑ3月27日（土）</p> <p>「朗読を深める」ために必要なものは何か。 これまで学んできたことの総括と受講者の朗読発表を行います。</p>

講座日程	2026年4月～2027年3月 原則月1回第4土曜日14時～16時 講義時間120分 ※講師の都合により、日程は変更する場合があります（今回、11月は第3土曜日）
募集対象	①朗読活動の指導者をを目指す方 ②朗読活動の更なる進歩を目指す方 ③コミュニケーション技術の向上のために朗読を学びたい方 全ての講義に出席可能な方
受講料	協会員：80,000円 一般：100,000円 ※お支払い後の返金には応じかねます。 ・協会員としてのお申し込みは、在籍3か月以上の方に限ります。 ・分割払い（2回）が可能です。（選考結果通知後、および7月末） ≪ご注意≫本講座は年間受講契約です。欠席や途中で受講を中止された場合でも、受講料の減額・免除はありません。
定員	20名（書類選考あり）
聴講生	各講座最多5名（ただし協会員限定。先着順で受付け、聴講可否は4月以降にご連絡） ※聴講の場合、講義に対する質問や相談はお受けできません。 ※参加費：1講座（A,B）6,000円（ただし2講座まで）
講座会場	東京都港区芝公園2-6-3 芝公園フロントタワー3階
募集日時	2026年2月2日(月)～3月10日(火) 必着 3月末日までに受講の可否をお知らせします。
「修了証」の授与について	1) 講座最終日、全講座出席の受講者には「修了証」を授与します。 2) 止むを得ず欠席した講座は次年度にのみ再受講することができます。 但し、受講料：1講義（AまたはB）につき3,000円
申込方法	<p>①ホームページから申し込みをされる場合 入力フォームからお申し込み下さい。</p> <p>②FAX または郵送で申し込みをされる場合 7ページの募集要項の申込書に記載の上、下記住所に2026年3月10日(火)〈必着〉までに郵送、またはFAXして下さい。 FAXでのお申し込み：03-6435-8356 郵送でのお申し込み：〒105-0003 東京都港区西新橋3-23-6 第一白川ビル3階B-2 NPO日本朗読文化協会 「朗読指導者養成講座」係宛</p>

お問合せ

 NPO日本朗読文化協会

〒105-0003 東京都港区西新橋3-23-6 第一白川ビル3階B-2
 TEL：03-6435-8355 FAX：03-6435-8356
 E-mail:npo-rodoku@rodoku.org http://www.rodoku.org/



4

A 11月21日(土)
三田村雅子
受け継がれる「源氏物語」

源氏物語は1000年前に紫式部によって書かれた物語ですが、この物語はその途中で道長によって後押しされ、以後圧倒的な権力と権威の下、受け継がれてきた稀有な書物でした。音楽、舞、美術、薫香、庭園、服飾などのかたちで源氏文化がどのように享受されていったか、その力学を考えます。

A 第1回:「書物」としての源氏物語

それら豪華な「本」が院政期の上皇・女院たちを彩り、権威づけし、さらには「源氏」を名乗った將軍家を装飾し、戦国時代の経済的困窮の中にあつた天皇家の起死回生にも役立っていった過程をたどります。

B 第2回:「源氏読み」の系譜として

豪華な源氏物語に対して、阿仏尼、源氏比丘尼、連歌師などもっと地味な源氏読みの人々を通じて源氏物語享受の場が広がっていく過程を見つめます。そのような朗読の場で何が大切にされ、何が受け継がれていったのか、実態にふれつつ考えてみたいと思います。

B 12月26日(土)
三田村雅子

5

A 2027年
1月23日(土)
三宅民夫
朗読、どう楽しむ!?
～囁んだ数だけ味が出る! 失敗に学んだ、私の原点～

作品の世界が伝わるよう読みたい!朗読を志す人なら、だれもが願うことです。下読みに励めば、つかえず読むことはできるようになるのですが、作品の魅力までは簡単には伝えられません。実は私も、初めての朗読で先輩アナウンサーを失望させた苦い思い出があります。

どうすれば生き生きと表現できるのか!? 失敗が教えてくれた「楽しむ」朗読のツボを、実演もまじえお伝えします。

B 2027年
2月27日(土)
三宅民夫
朗読、どう生かす!?
～超高齢社会を、心豊かに生きるサプリーとして～

大学では、ジェロントロジー(老年学)という研究のお手伝いをしてきました。少子高齢化時代をどう心豊かに生きるのか、難しい課題ですが、私は「朗読」に、意外なチカラが期待できるかもしれない!?と感じています。発声・発音・滑舌そして朗読活動。それらが、超高齢社会の中で、大事な意味を持ちつつあるのではと考えているのです。

朗読が、今後の人生と社会にどんな影響を及ぼすのか、その意義を考えます。

B 2027年
3月27日(土)
加賀美幸子
まとめ:「朗読を深める」その2
「朗読論」と朗読発表

「朗読を深める」ために必要なものは何か。

これまで学んできたことの総括と受講者の朗読発表を行います。

講座日程

講座日／講師名

講義名／概要

A 4月25日(土)
加賀美幸子

はじめに:「朗読を深める」その1

あなたはどんな朗読を目指すのか、そのために何を学ぶのか、一緒に考えます。

1

A 5月23日(土)
山崎広子

声を知る～声と脳と身体の不思議～

まず声帯、共鳴、呼吸、脳の発声回路などの基礎知識をお話しします。

〈声帯原音から声へ／声は究極の個人情報／聴覚と声／呼吸法の検証／声は脳から身体を変える／脳が声を作り、声が脳を作る〉など。

B 6月27日(土)
山崎広子

オーセンティック・ヴォイスと声の心理学

前半は声と心のお話。後半は質疑応答で理解を深めます。〈自分の声を嫌う人が多い理由／声は心をどう動かすか／本物の声＝オーセンティック・ヴォイスとは／人はその声のように心身が構築される〉など。

2

A 7月25日(土)
野田尚史

日本語のあいまい文

「大きなおもちゃを入れてある箱」は「大きなおもちゃ」という意味か「大きな箱」という意味かがあいまいです。このような「あいまい文」はどんな構造を持っていて、どのようなときに生じるのかを考えます。

B 8月22日(土)
野田尚史

日本語のわかりにくい話し方

日本語を母語としない日本語学習者が日本語を聞いたときに、理解できなかったり違う意味に誤解したりすることがあります。そのような事例をもとに、どのような話し方が聞き手にわかりにくいのかを考えます。

3

A 9月26日(土)
奥秋 聡

その人の人生を聴く

私が担当している番組「こころの時代」では、ひとりの人物の人生について、幼いころから遡って、じっくりと話を聞くことが多いです。様々な人に出会い、様々な質問を投げかけて、番組を制作してきましたが、インタビューでは、質問をしている自分自身の方が、生き方、考え方、歴史観、マイノリティに対する偏見などを問われると感じる場面が数多くありました。

B 10月24日(土)
奥秋 聡

その人の人生に迫るインタビューをする際に、どんなことを考えてきたのか。作家・目取真俊さん、作家・市川沙央さん、ゲイであるとカミングアウトした牧師・平良愛香さん、関東大震災の時に殺害された朝鮮人の証言を集めてきた西崎雅夫さんとのエピソードを中心にお話をさせていただけたらと思います。

そして、番組に新たな命を吹き込んでくれるナレーションの力についても、私が制作した番組を事例に、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

【受講申込書】

フリガナ 氏名			年齢	歳
職業	役職などできれば具体的に		どちらかに <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 協会員 <input type="checkbox"/> 一般	
連絡先	住所			
	電話		携帯	
	メールアドレス			

【朗読活動経験】

1.あり(具体的に)

2.なし

【本講座への思い】

【受講後の活動予定】



NPO日本朗読文化協会

Since 2001